大震災復旧を目指して、町内外で様々な取り組み

3月11日に発生した「東日本大震災」では、巨大地震とその後に発生した大津波により、東北・関東地方の各地で甚大な災害をもたらしました。また、当町でも震度6弱を観測し、町内各地で建物や塀の崩壊、土砂崩れ、道路の破損や水道管の破裂など、大きな被害をもたらしました。

水道など復旧した部分もありますが、通行止めの道路や破損した建造物などがまだまだ残っており、今回は、今後の取組や支援事業等について、お知らせしていきます。

家屋の被害調査を実施

災害救助法、被災者生活再建支援法等による各種施策や町税の減免、その他の被災者支援策を実施するために必要な家屋の被害程度を調べるための「被災家屋被害状況調査」を、4月14日から町内の全家屋を対象に実施しました。

調査は町職員が2人1組で町内各戸を訪問し、屋根や外壁、基礎などの外観や内壁や天井、柱などの屋内の破損個所を調査し、建物被害の程度を判定しました。この調査結果により、町の支援制度等が受けられる場合がありますので、詳しくは4ページをご覧ください。

地震により脱落した壁

持込まれた屋根瓦、大谷石等

地震被災住宅支援事業

被災された住宅が住めるかどうかの判定をします。

希望される方は、建設課へご連絡ください。（無料です）

建設課

☎0287―92―1118

通行止めの状況

通行上危険なため、左記の箇所が通行止めとなっています。

【河川橋】
・新那珂橋（県道）

【県道】
・県道小口黒羽線（美玉・ゆりがね間）

【林道】
・久那瀬矢又線（矢又側から1.2㎞付近）
・月出ヶ沢線
・庭渡沢線　・沼沢線

【農道】・前山押野線

被災箇所をお知らせください

余震などで被害の拡大が予想されます。新たな災害が発生した箇所を知らせてください。

【県道・町道】→建設課
☎0287―92―1118

【農道・林道・農地・山林・農業施設】→農林振興課
☎0287―92―1113

放射線量測定を実施中

放射線量につきましては、栃木県環境保健センター（宇都宮市）・那須町役場（那須町）・今市健康福祉センター（日光市）・芳賀庁舎（真岡市）・小山庁舎（小山市）・安蘇庁舎（佐野市）の県内6ヵ所のほか、「那珂川町山村開発センター」での測定も行っております。

町内の放射線量の検出結果は、4月28日現在で、0・08マイクロシーベルト／時となっています。

水道水の放射能調査

水道水につきまして、当町の水源は、すべて地下水でまかなっており、放射能測定調査の採水は各浄水場で行いました。

測定結果は、放射性ヨウ素及び放射性セシウムについて全て「検出されず」でした。（4月25日現在）

最新の情報は
町ホームページや
CATVの文字放送等で

通行止め状況や、放射能測定の結果など、災害関係の最新情報に関しましては、町のホームページ、ケーブルテレビの番組、文字放送等でご確認くださるようお願いします。

大震災の発生以後、東北地方を中心とする被災地の復旧や家を失ったり避難を余儀なくされたりしている被災者に対する様々な支援活動が、全国各地で行われています。

那珂川町内でも個人や団体からの義援金、被災者のための日常生活物資の寄付などが数多く寄せられました。

また、那珂川町の被災に関して、当町の姉妹都市である滋賀県愛荘町から支援物資が届けられました。

生活支援物資等を募集

町内の31の団体・企業により組織された「那珂川町東日本大震災激甚被災地支援会」（以下「支援会」）では、甚大な被害のあった東北地方の被災地を支援するため、義援金の受付や生活支援物資の募集などを行いました。

支援物資は、粉ミルク、缶詰、カップ麺などの食料品、トイレットペーパー、紙おむつ、ボックスティッシュ、使い捨てカイロなどの日用品、スコップや一輪車などの復旧用品、ノートや学用品セットなどの文房具などが集まりました。

4月11日には総合体育館に集められた支援物資を荷造りし、JAなす南から提供された白米200袋と合わせてトラックに積込みました。これは県トラック協会のご協力により無償で提供されたもので、支援会のメンバーなどの手により、トラックの天井近くにまで、支援物資が積み上げられました。

物資を南相馬市に

4月12日には、早朝から馬頭広重美術館駐車場に支援会の会員や町長・議長など町関係者が集まり、災害支援物資輸送隊の出発式が行われました。

式では輸送隊の川上議長から「町民の皆さんから大変多くの支援物資をいただき感謝しております」などとあいさつがあり、大金町長から「まだまだ余震も続いており、現地には十分注意して行ってきてほしい」などと激励の言葉がありました。

輸送隊はトラックのほか、ワゴン車2台で出発し、その日のうちに福島県南相馬市に物資を届け、帰町しました。

南相馬市に到着

滋賀県愛荘町から

当町の姉妹都市である滋賀県愛荘町では、4月13日・14日、町長・議長など7名が那珂川町を訪れ、支援物資などを届けられました。初日は夕方近くに町に着くと、大型バスに積込んだ物資を山村開発センターに運び込みました。翌日14日には町長室を訪れ、那珂川町の町長・議長などにお見舞いを述べられ、災害時の様子や被災状況などについて、約1時間に渡って懇談されました。